



地域課題解決のための スマートシティ推進事業について

令和6年3月

総務省情報流通行政局
地域通信振興課

地域課題解決のためのスマートシティ推進事業

地域が抱える様々な課題（防災、セキュリティ・見守り、買物支援など）をデジタル技術やデータの活用によって解決し、地域活性化につなげるため、地方公共団体等による「都市OS（データ連携基盤）」の整備・改修や、それにつながる各種サービスの実装等にかかる経費の一部を補助。

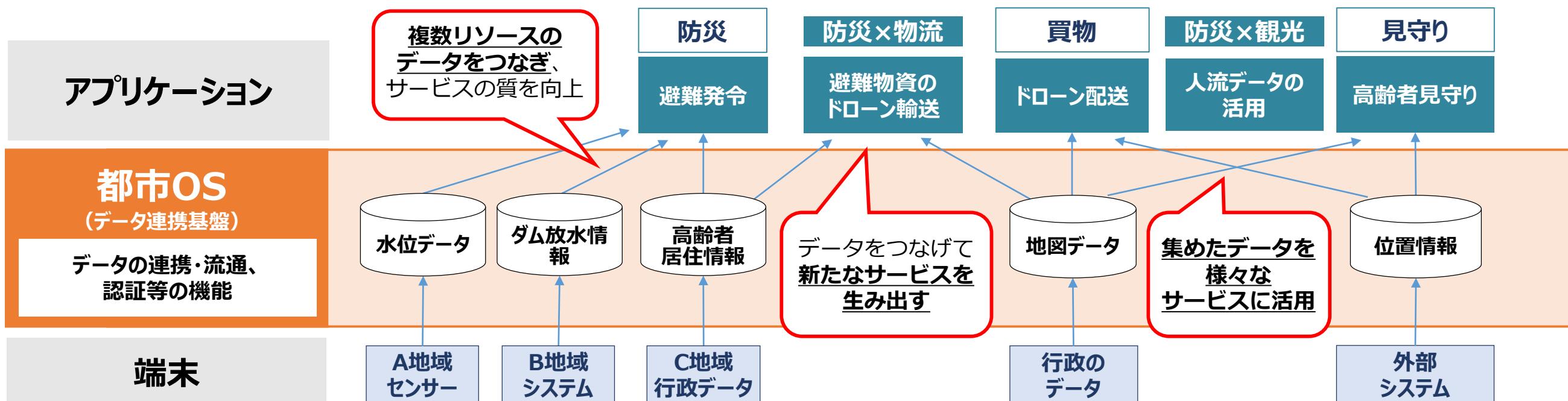
【令和6年度当初予算案 3.0億円】

- 対象事業者：地方公共団体、民間団体(※)等
- 補助対象：「都市OS」の整備・改修、都市OSと接続するサービス・アセットの実装等
- 補助率：1 / 2

※ 地域でのサービス実装による地域課題解決について地方公共団体との間で連携協定やコンソーシアム等でガバナンスが確保されている民間企業等

【補助対象となる「都市OS」を活用したスマートシティのイメージ】

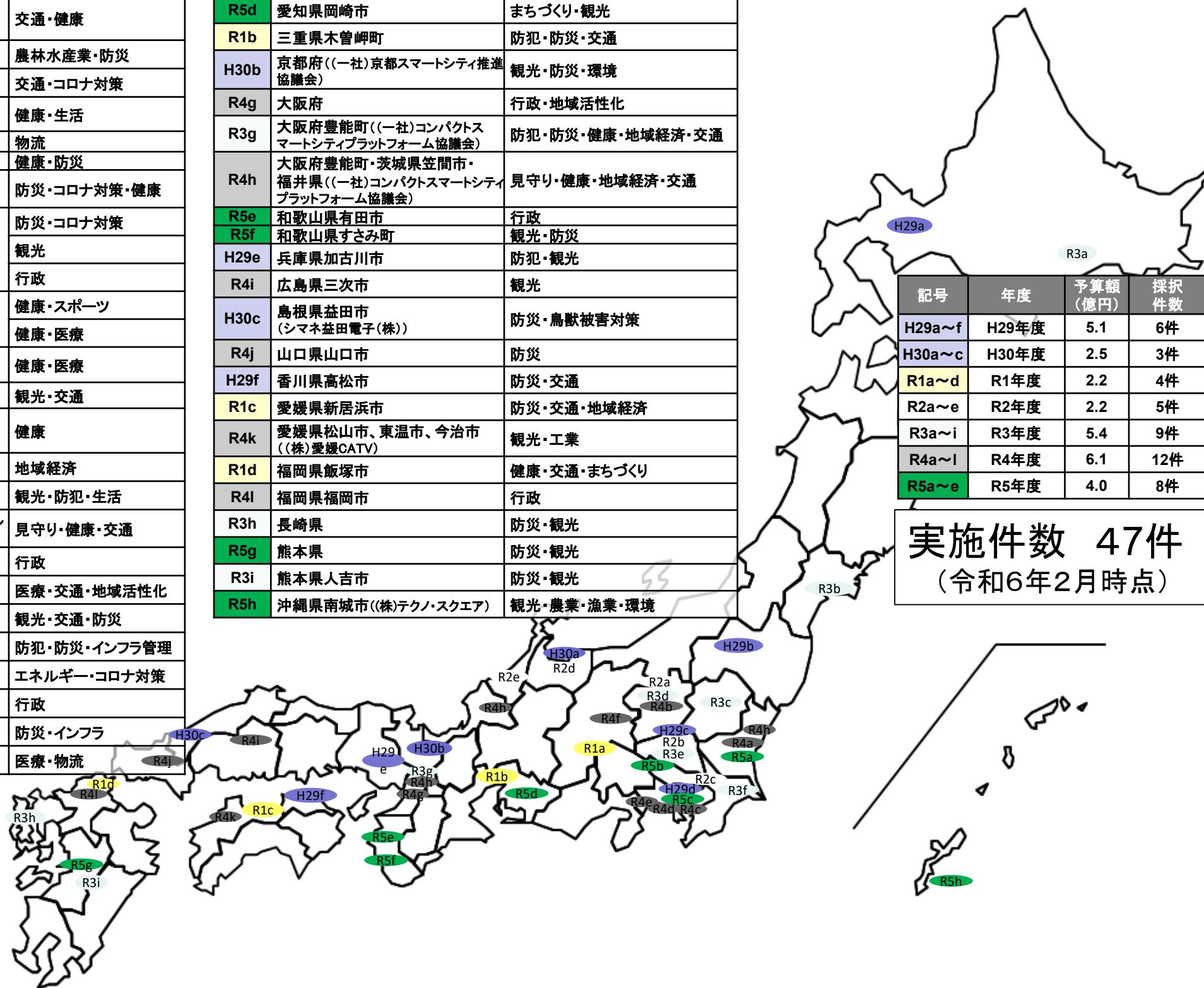
この補助事業では、都市に関わる様々なデータを集約し、複合的な地域課題解決につなげるスマートシティの実現を支援。分野ごとにバラバラではなく、各種スマートシティサービスの基盤となる都市OS（データ連携基盤）を活用してサービスを構築することで、分野間・地域間のデータ連携やワンストップ化によりサービスの質を向上させ、より効果的なソリューションを提供するとともに、基本機能の共通化により、開発・運用コストの低減を図る。



平成29年度～令和5年度までの実施地域

項番	実施地域（実施団体）	主な分野
H29a	北海道札幌市 （（一財）さっぽろ産業振興財団）	交通・健康
R3a	北海道更別村	農林水産業・防災
R3b	宮城県仙台市	交通・コロナ対策
H29b	福島県会津若松市 （アクセンチュア(株)）	健康・生活
R4a	茨城県つくば市	物流
R5a	茨城県境町	健康・防災
R3c	栃木県佐野市 （（一社）スマートソサエティファウンデーション）	防災・コロナ対策・健康
R2a		防災・コロナ対策
R3d	群馬県嬬恋村	観光
R4b		行政
H29c	埼玉県さいたま市	健康・スポーツ
R2b	（（一社）美園タウンマネジメント）	健康・医療
R3e	埼玉県さいたま市・横瀬町 （（一社）美園タウンマネジメント）	健康・医療
R5b	埼玉県秩父市	観光・交通
R3f	千葉県柏市 （（一社）UDCKタウンマネジメント）	健康
R2c	東京都大田区（鹿島建設(株)）	地域経済
H29d	神奈川県横浜市（（株）リアライズ）	観光・防犯・生活
R5c	神奈川県横浜市（（一社）コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会）	見守り・健康・交通
R4c	神奈川県横須賀市	行政
R4d	神奈川県鎌倉市	医療・交通・地域活性化
R4e	神奈川県小田原市	観光・交通・防災
H30a	富山県富山市	防犯・防災・インフラ管理
R2d	富山県富山市（関西電力(株)）	エネルギー・コロナ対策
R2e	石川県加賀市	行政
R4f	長野県	防災・インフラ
R1a	長野県伊那市	医療・物流

項番	実施地域（実施団体）	主な分野
R5d	愛知県岡崎市	まちづくり・観光
R1b	三重県木曽岬町	防犯・防災・交通
H30b	京都府（（一社）京都スマートシティ推進協議会）	観光・防災・環境
R4g	大阪府	行政・地域活性化
R3g	大阪府豊能町（（一社）コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会）	防犯・防災・健康・地域経済・交通
R4h	大阪府豊能町・茨城県笠間市・福井県（（一社）コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会）	見守り・健康・地域経済・交通
R5e	和歌山県有田市	行政
R5f	和歌山県すさみ町	観光・防災
H29e	兵庫県加古川市	防犯・観光
R4i	広島県三次市	観光
H30c	島根県益田市 （シマネ益田電子(株)）	防災・鳥獣被害対策
R4j	山口県山口市	防災
H29f	香川県高松市	防災・交通
R1c	愛媛県新居浜市	防災・交通・地域経済
R4k	愛媛県松山市、東温市、今治市 （（株）愛媛CATV）	観光・工業
R1d	福岡県飯塚市	健康・交通・まちづくり
R4l	福岡県福岡市	行政
R3h	長崎県	防災・観光
R5g	熊本県	防災・観光
R3i	熊本県人吉市	防災・観光
R5h	沖縄県南城市（（株）テクノ・スクエア）	観光・農業・漁業・環境



記号	年度	予算額 (億円)	採択 件数
H29a~f	H29年度	5.1	6件
H30a~c	H30年度	2.5	3件
R1a~d	R1年度	2.2	4件
R2a~e	R2年度	2.2	5件
R3a~i	R3年度	5.4	9件
R4a~l	R4年度	6.1	12件
R5a~e	R5年度	4.0	8件

実施件数 47件
(令和6年2月時点)

スマートシティ推進事業の採択事例

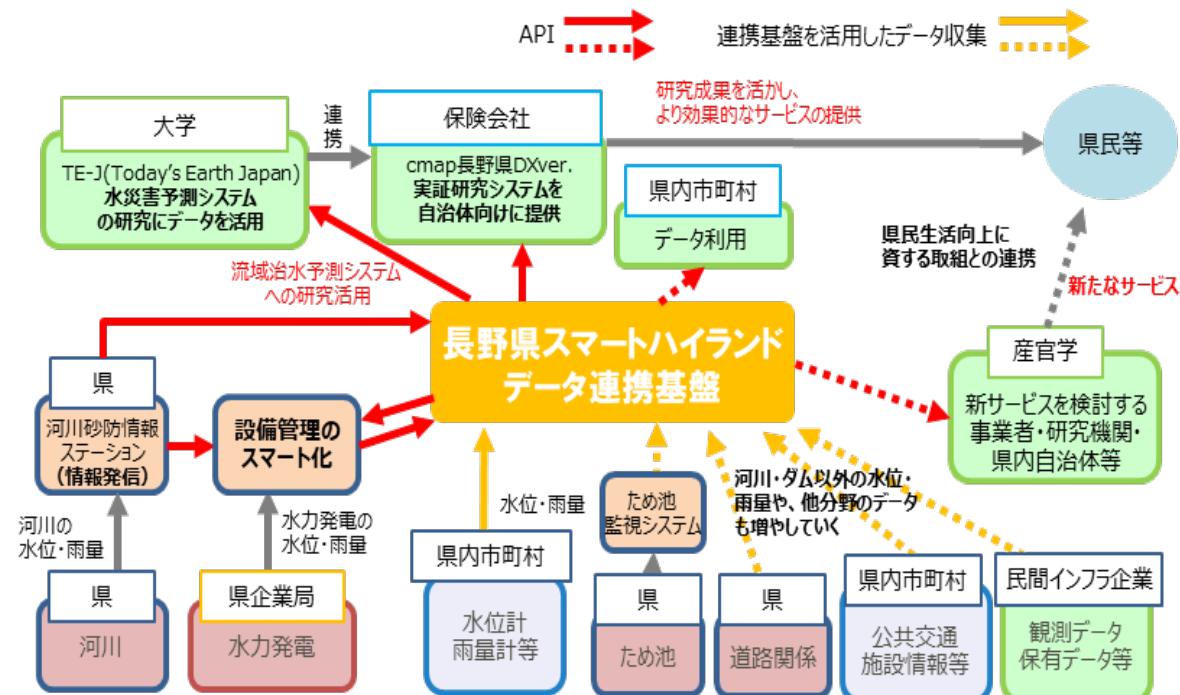
- 総務省では、地域が抱える横断的課題(防災、防犯・見守り、健康福祉、子育て、買物支援等)に対し、自治体等がデジタル技術やデータを活用して解決する先進的なスマートシティ基盤整備を支援。
- 拡張性、互換性も考慮しながら、これまで47事業を実施(令和5年度は8事業を採択)。

事業概要

- 対象:都市に関わる様々なデータを集約・活用し、地域課題を解決するデータ連携基盤・サービスの整備
- 要件:
 - ✓ 「スマートシティリファレンスアーキテクチャ」に基づき、構成要素が明確に整理・可視化されていること
 - ✓ 「スマートシティセキュリティガイドライン」の遵守、他事業者や他自治体への拡張性などへの考慮 等

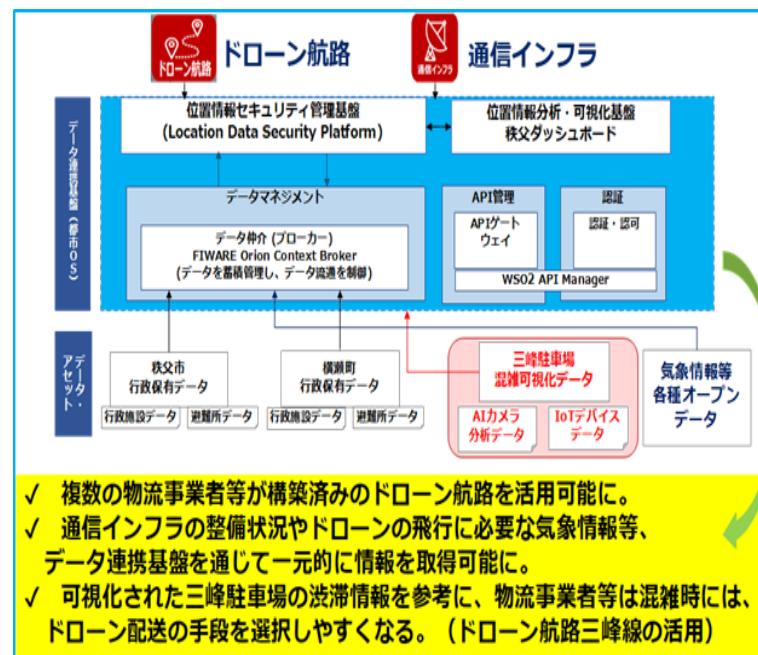
防災の事例 (長野県)

- ✓ 千曲川の氾濫を機に、県主導の下、県内の77市町村が連携し、河川の水位・雨量等のデータを活用する防災基盤を構築



観光 (オーバーツーリズム) の事例 (秩父市)

- ✓ AIセンサーによるリアルタイム渋滞情報の可視化、混雑状況に応じた代替周遊ルートへの提供サービスへ活用



【写真】三峰駐車場約500m手前渋滞の様子



- ✓ 複数の物流事業者等が構築済みのドローン航路を活用可能に。
- ✓ 通信インフラの整備状況やドローンの飛行に必要な気象情報等、データ連携基盤を通じて一元的に情報を取得可能に。
- ✓ 可視化された三峰駐車場の渋滞情報を参考に、物流事業者等は混雑時には、ドローン配送の手段を選択しやすくなる。(ドローン航路三峰線の活用)

課題と現在の取り組み

評価のまとめ

① 教訓としてあげられる事項

- 地域毎の課題に応じて、横断的な事業領域で、都市間で連携したサービスの実現に貢献。
- データ連携・流通や認証機能を活用した新たなサービスが期待される一方、ヒアリング調査等を通じて、以下のような課題も顕在化。

【データ連携・利用を巡る課題】

- 民産学官による**持続可能**な推進・運営体制の構築
- 住民・民間企業による**データ利活用のニーズの明確化**
- 複数のデータを連携させた**画期的**なモデルケースの創出

【ヒアリング等を通じた自治体の意見】

- 利用**ニーズの高いアプリケーション**の創出が必要
- 複数の部署でのニーズを**横断的に調整や推進**するノウハウのある**人材が不足**。

現在の取り組み

- 関係省庁と連携し、以下の取組も通じ、**拡張性、互換性、持続可能性あるスマートシティ**を目指す。
 - 体制支援・アドバイザー等を通じた各地域課題の洗い出し
 - 地域のニーズに応じた画期的なユースケース創出に向けた調査研究
 - 自治体や地方関係者との密な連携による潜在的なニーズの掘り起こし・フォローアップ 等

② 優良な事例について、その横展開の方法(具体的な取組みも含む)

- これまでの総務省事業の事例のうち、長野県、大阪府、高松市などの広域連携・共同利用の取り組み事例について、当省主催の「都市OS導入支援セミナー」(全4回開催)などで他の地方公共団体や民間企業に対して紹介し、横展開、潜在的ニーズの掘り起こしを進めた。